

令和2年度 学校経営方針

丹波篠山市立城東小学校

【校訓】

輝く笑顔 やさしい心 元気なあいさつ

【学校教育目標】

よく学び、よく遊び、よく食べる
自立して未来に挑戦する城東っ子の育成

「自立とは」とは

学ぶことの意義を知り、発達段階に応じた目標やゆめを持ち、その実現に向けて努力することによって、自らの将来を切り拓くこと。

「挑戦」とは

失敗を恐れずにチャレンジする心、困難にもくじけない強い心を持つこと。

【学校経営の基本方針】 ～全ては「信頼関係」から～

生徒・保護者・地域との信頼関係、さらに教職員相互の信頼関係があって、はじめて学校教育目標は実現できる。その信頼関係はお互いへの「敬意」「対話」「行動」によって築かれる。

①体験を通して、自立への力を育成する。

- ・「ふるさと城東」の地域素材を体験学習に取り入れて、生きる力を育成する。
- ・小さな挑戦を積み重ね、失敗を恐れず、チャレンジする心を育てる。
- ・自分の意見を持ち、友だちと話し合い、意見をまとめたり、新たなアイデアを導き出したりする体験活動を大切にする。
- ・食育、眠育、体育を通して元気な子どもを育成する。

②授業でつけた力を試す機会を生かす取組を進める。

- ・自分の考えを持ったり、自分を表現したりする機会を大切にする。
- ・友だちと協力したり、切磋琢磨したりしながら成長していける学校を目指す。
- ・委員会活動や係活動等、子どもたちが目標に向かって主体的に活動する自治活動を活発にする。

③安全・安心な学習環境を整える。

- ・子どもたちが安心して学べる学校づくりを進める。
- ・学校・保護者・地域と連携し、学校施設や登下校の安全に取り組む。
- ・「みんなでつくる みんなの学校」コミュニティスクールを推進し、地域とともにある学校づくりを行う。

【目指す児童像】 「学ぶ姿勢」「学ぶ楽しみ」「学ぶ意欲」を持つ児童

「学ぶ姿勢」

授業を大切にし、当たり前のことが当たり前にできる子ども（授業規律・あいさつ・清掃・時間）

「学ぶ楽しみ」

学びの中で自分の成長を実感し、互いに意見や考えを出し合い、ともに伸びようとする子ども

「学ぶ意欲」

目標や夢を持ち、その実現に向けて具体的な努力ができる子ども

【目指す学校像】 「地域を愛し、地域から愛される学校」

○子どもが自らの生き方を真剣に考え、夢や目標を持っていきいきと生活できる学校

（信頼できる仲間や教職員に囲まれ、目標や夢に向かって挑戦し、成長が実感できる学校）

○保護者にとって、安心して子どもを任せられる学校

（安全で安心な学校、信頼できる教職員がいる学校、我が子の力を伸ばしてくれる学校）

○地域から信頼され、応援してもらえる学校

（ふるさと城東のために貢献しようとする意欲を持つ子どもを育てる学校）

○教職員にとって、やりがいがあり、働きやすい学校

（教職員が互いに信頼し合い、それぞれの持ち味を生かしながら協働できる学校）

【目指す教職員像】 「子どもとともに学び、進化し続ける教職員」

○情熱と愛情を持ち、率先垂範し、自らの信念を生徒に一生懸命語れる教職員

○教育のプロとしての誇りを持ち、自らの資質や能力を高めるために学び続ける教職員

○来校者や電話に対して、礼儀正しくさわやかな接遇ができる教職員

○軽快なフットワークで地域へ出向き、地域の方々に顔を覚えられる教職員

○新学習指導要領の実施において、新たな教育課題に挑戦する姿勢を持つ教職員

【本年度の重点目標】

- ① いじめを絶対に許さないという確固たる方針のもと、生徒の心に寄り添った組織的な生徒指導を進め、全ての子どもがいきいきと生活できる仲間づくりを進める。
（定期的なアンケート、教育相談、交換ノート等、校内巡視等で、未然防止・早期対応を徹底する。また、保護者・関係機関と連携しながら情報モラル教育を計画的に推進する。）
- ② 主体的・対話的で深い学びになるよう授業改善に取り組む。
（タブレットを活用した授業研究を進める。）
- ③ 課題を持つ生徒に対して個に応じた適切な指導・支援ができる特別支援教育を充実する。
（個々の教育的ニーズを把握し、全職員で共通理解しながら共通実践を進める。）
- ④ コミュニティスクール事業を核に、職員・保護者・地域住民が丁寧にコミュニケーションをとりながら、地域とともにある城東小学校の教育を推進する。
（学校運営協議会が中心となり、地域の理解・協力が促進される仕組みづくりを進める。）
- ⑤ 「特別の教科 道徳」の研究を進め、「城東小スタイル」を確立する。
- ⑥ 篠山東中学校との小中連携を充実し、義務教育9年間の成長を見通した教育を展開する。